

# I 研究の概要

## 1 研究主題

未来に向かう力をもった氷川っ子の育成  
～一人ひとりのコミュニケーション能力を高める取組を通して～

## 2 研究主題設定の理由

経済、政治をはじめ様々な分野においてグローバル化が進んでおり、経済・社会・文化等、あらゆる分野で国際的な協調や協力を期待されている。さらに、IT社会、ネットワーク社会とも称されるグローバルな交流、環境問題や食糧問題など地球規模の問題を解決していくことも求められており、異文化を理解・尊重する態度や異なる文化をもった人々と共に生きていく資質や能力の育成を図ること、国際共通語として中心的役割を果たす英語によるコミュニケーション能力は必要となる。

この流れを受け、平成29年3月に公示された新学習指導要領では、小学校中学年に外国語活動が、高学年は外国語科が導入され、外国語教育の枠組みが大きく変更された。今までの外国語教育の在り方と児童生徒のコミュニケーション能力の状況における課題を踏まえた内容となっている。

新学習指導要領では、すべての教科等の目標及び内容が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理された。外国語活動、外国語科の目標や内容は、各学校種間の学びを接続させると共に、外国語を使って何ができるようになるかを明確にするという観点から設定されている。

これを受けて本校では、自分の思いや願いを伝え合う児童の育成を目指し、英語で自分の思いや考えを伝える力「Small Talk」の指導内容・指導方法の工夫を中心に研究を推進してきた。

## 3 めざす児童像について

- 外国語でのコミュニケーションに意欲的な児童
- 外国語の音声に慣れ親しみ、日常生活の簡単な英語を聞いたり話したりできる児童
- 外国語の文字に慣れ親しみ、簡単な英語を読んだり書いたりしようとする児童

## 4 研究の仮説

- 目的意識をもたせることで、外国語のコミュニケーションへの関心が高まるだろう。
- 多様な聞く活動を取り入れることで、外国語での音声に慣れ親しみ、類推して内容を聞く力が育つであろう。
- 繰り返し外国語を話す活動を取り入れることで、外国語での言い方を理解し、自分の考えや気持ちを話す力が育つであろう。
- 文字に触れる場面を多く設定すれば児童が自然に読もうとしたり、書こうとしたりする力が育つであろう。

## 5 研究の進め方

### ◎研究の基本方針

- ①先進校視察、理論研究、講演等を通して、外国語活動の指導法等についての理解を深める。
- ②授業研究を行い、研究主題の具現化を図る。
- ③実態調査や記録の累積に努め、指導法の改善に反映させる。
- ④外国語に慣れ親しめる環境の整備に努める。
- ⑤模擬授業研修を行い、教員の指導力向上を図る。

## 6 具体的な手立てと取組

研究主題・目指す児童像を具現化するために、以下の取組を行った。

### (1) 研究推進委員会

月1回の研究推進委員会では、授業研究会での学びの振り返りや専門部の取組状況を報告した。この会議を行うことで、共通理解を図り、研究を推進することができた。

### (2) 全体会

全体研修会では、研究の方向性を確認する会議だけでなく、新学習指導要領について共通理解を図ったり、外国語活動の指導法について学んだりするなど、日々の授業実践で生かせるような内容とした。

5月には「外国語指導法」について草加市教育委員会指導課指導主事 小野陽子先生から講義、実技演習をしていただいた。8月・9月には、研修参加者による「中央研修伝達会」、「小学校教員英語指導力養成講座伝達講習」を行い、埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課 主任指導主事 田邊玲先生、南部教育事務所 学力向上推進担当 主任指導主事 牛久裕介先生からご指導をいただいた。

また、教師の指導力向上を図るため、「ミニ研修」を実施した。授業で使える外国語の練習をALTと行ったり、模擬授業研修を通し、具体的な指導法を学んだりするなどして、指導力の向上を図った。



### (3) 学年（ブロック）研修

全学年で、研究授業・公開授業を行った。各学年（ブロック）で指導案を作成したり、事前授業を行ったりするなど、よりよい授業を行うために、検討を繰り返し行った。

研究授業では、埼玉大学教授 及川賢先生と草加市教育委員会指導課指導主事 小野陽子先生に、授業の成果や改善点、今後の方向性についてご指導をいただいた。

	研究授業		公開授業	
	時期	授業者	時期	授業者
低学年ブロック	9月		7月	
中学年ブロック	11月		12月	
高学年ブロック	5月		6月	

### (4) 専門部会

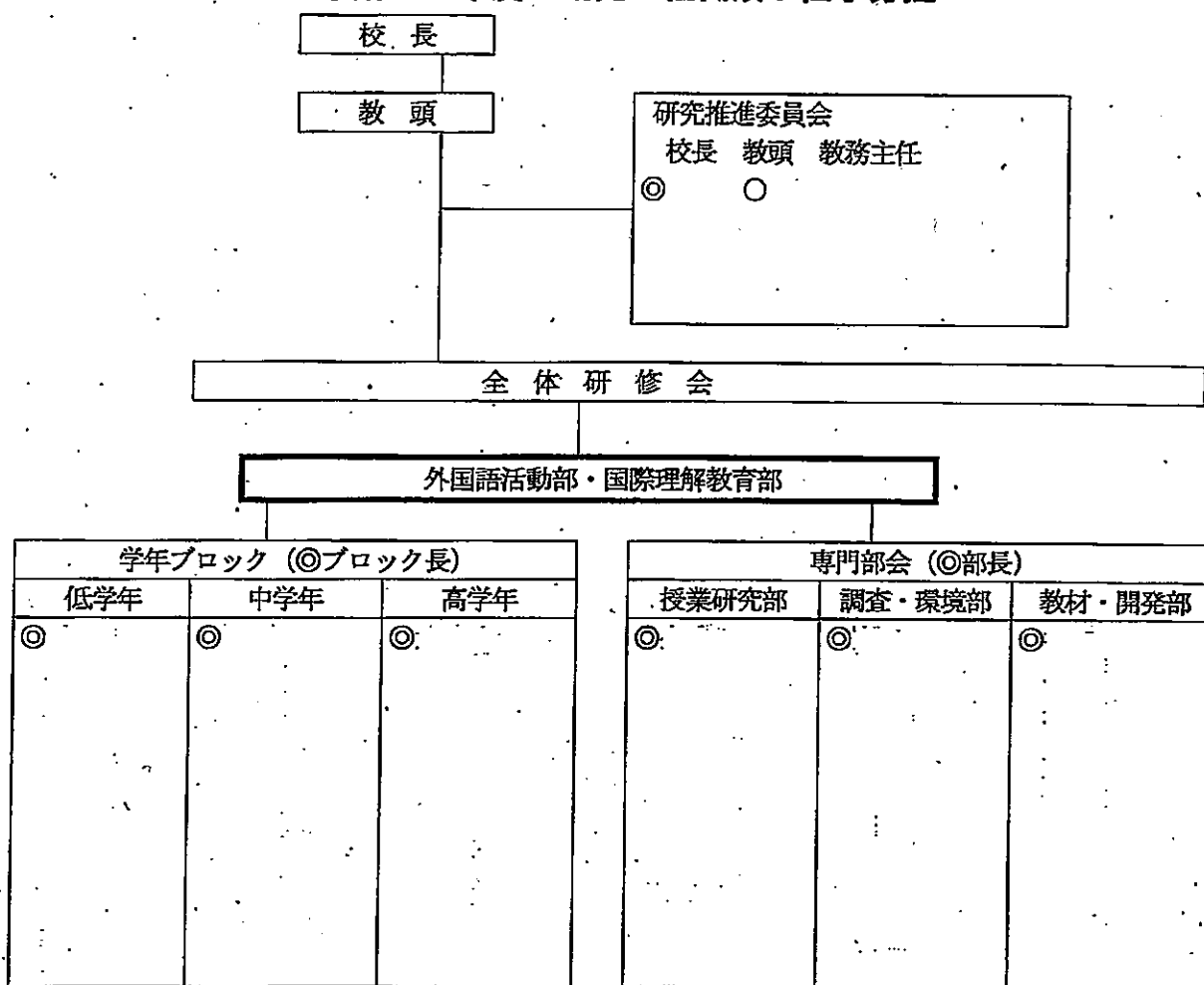
専門部会（授業研究部、調査・環境部、教材・開発部）を立ち上げ、部会を4回実施した。部会では、年度当初に計画されていた内容だけでなく、授業研究会での学びを生かし新たに計画・提案するなど、研究を推進することができた。

専門部の主な活動として、授業研究部では、Small Talkでスムーズに会話を進めるために状況設定カードを作成した。調査・環境部では、児童の実態調査や校内環境の整備を行い、教材・開発部では、授業の教材作成を行った。



7 研究組織図

平成30年度 研究の組織及び仕事分担



8 研究内容

(1) 研究内容一覧

組織	研究内容
研究推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修計画の立案、推進、運営</li> <li>・全体会、講演会等の計画、運営</li> <li>・学年部、専門部の連絡調整</li> <li>・ミニ研修実施</li> <li>・研究集録の作成</li> </ul>
全体会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修計画の検討、協議</li> <li>・理論研究や研究授業協議</li> <li>・学年部、専門部の情報交換</li> </ul>
学年ブロック部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究内容の確認と検討</li> <li>・理論研究</li> <li>・指導案検討や研究授業</li> <li>・教材研究や教材開発</li> </ul>
専門部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導法の工夫、改善 (1時間の流れ、授業の進め方)</li> <li>・指導案作成 (1時間ごとの流れ (指示・発問) を作成)</li> <li>・Small Talkの研究</li> <li>・ALTとの打合せ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態調査 (意識・学力) と分析</li> <li>・研究に関わる資料や情報の収集</li> <li>・校内掲示</li> <li>・学年の掲示板</li> <li>・English Room の環境整備</li> <li>・写真、ビデオによる記録の累積、保管</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材開発 (毎時間の授業)</li> <li>・今月の歌 (English Song) 作成</li> <li>・歌詞カード作成</li> <li>・フォニックスのCD購入</li> <li>・フラッシュカード作成</li> <li>・英語集会計画、実施</li> </ul>

## (2) 氷川小学校 外国語活動の流れ

本校の外国語活動の学習は、週1回12分間の「E-Time」と45分間の外国語活動の2つのタイムの指導時間で成り立っている。

週1回12分間の「E-Time」では、今月の歌 (English Song)・チャンツ・フォニックス、アクティビティで構成されている。アクティビティでは、1～4年生は簡単な英語に慣れ親しみ、5・6年生は「Writing Time」として書くことを中心に取り組んでいる。

一方、45分間の外国語活動では、本時のめあてを明確にし、4技能5領域のバランスのとれた指導を行い、外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図りたい、さらに外国語を学びたいといった意欲の向上を目指している。

指導体制については、担任とALTで行っているが、英語専科とTT(週3日)小中連携事業の一環として中学校の先生(週2回)とTTで行うこともある。TTで行うことで、よりきめ細やかな指導を行うことができ、成果を上げている。

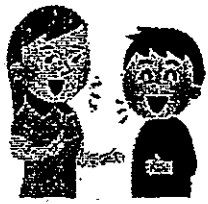
### <平成30年度氷川小学校 E-Time、外国語活動の時間の扱い>

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
外国語活動			15	15	50	50
チャレンジタイム <E-Time>	週1回× 月4回	週1回× 月4回	週1回× 月4回	週1回× 月4回	週1回× 月4回	週1回× 月4回
総授業時数	0時間	0時間	15時間	15時間	50時間	50時間

### <外国語活動における、HRTとALTとの役割>

HRT (学級担任)	ALT (外国語指導助手)
①活動案を作成する ②教材・教具を作る。 ③活動全体の流れを作る。 ④学級の雰囲気づくり ⑤活動中の児童に適切な指示や支援をする。 ⑥児童の評価をする。	①ネイティブ・スピーカーとして、発音を提供する。 ②異なる国の文化や生活情報を提供する。 ③英語活動の雰囲気づくり。 ④児童の活動を支援する。

### <外国語活動 1時間の流れ>

1. あいさつ ・児童に天気や体調を尋ねたり、会話をしたりして、楽しい雰囲気作りを行う。	
2. ウォームアップ ・今月の歌を歌う。「English Song」 ・既習事項を使った「Small Talk」① 状況設定フラッシュカードを用意し、既習事項を使った「Small Talk」①を行う。	
3. コミュニケーションを楽しむ活動 ・本時の目標を児童に掲示する。 ・学習の段階をみて、つけたい力を明確にしてそれぞれの活動を展開する。	
4. 活動の振り返り ・本時の目標や評価規準に関わる問いかけをして挙手させ、自己の活動の振り返りをさせる。教師からも言葉かけをし、本時の評価が児童に伝わるようにする。(低・中・高) ・授業の最後に振り返りカード(PPEB)を記入させる。自己の学びの振り返りをさせるとともに、教師は学級全体や児童の頑張りなどを賞賛する。(中・高) ・本時で学習を振り返り「Small Talk」②	
5. あいさつ ・終わりのあいさつでは、次回の活動を予告するとともに、楽しい雰囲気の中で、学習を終えるようにする。	

# 氷川小学校外国語活動

## ～ Greeting ～



笑顔で、子どもとのコミュニケーションを楽しみましょう。

1 おはようございます。	Good morning class.
2 今日の調子はどうですか。 先生はどうですか。	How are you today? (I'm fine. )  How about you?
3 今日の天気はどうですか。	How's the weather today?  (It's sunny. / It's cloudy. / It's rainy.)
4 今日は何曜日ですか。	What day is it today? (It's Friday.)
5 今日は何月何日ですか。	What's the date today? (It's August 10th.)
6 何時ですか。	What time is it ? (It's nine thirty.)
7 始めましょう。	Let's start English lesson.

# 氷川小学校外国語活動

## ～Classroom English ①～



ジェスチャーをつけて、指示を出してみましよう。Let's Try!

1 今日のめあてです。	This is today's goal.
2 歌を歌いましょう。	Let's sing a song.
3 立ちなさい。	Stand up.
4 座りなさい。	Sit down.
5 デモンストレーションです。	Demonstration.
6 やりたい人はいますか。	Volunteers?
7 ありがとう。どういたしまして。	Thank you.—You're welcome.
8 席に戻りなさい。	Go back to your seat.
9 テキストの6ページを開きなさい。	Open your textbook to page six.
10 カードを取り出しなさい。	Take out your cards.
11 聞きなさい。	Listen.
12 顔をあげなさい。	Look up.
13 私たちを見なさい。	Watch us.
14 4人のグループをつくりなさい。	Make groups of four.
15 ペアになりなさい。	Make pairs.
16 はい、どうぞ。	Here you are.
17 質問はありますか。	Any questions?
18 わかりましたか。	Understand?
19 今日の授業の振り返りをしましょう。	Let's review today's class.
20 今日はこれで終わりにします	That's all for today.

# 氷川小学校外国語活動

## ～Classroom English ②～



授業中、子どもをたくさんほめたり励ましたりしましょう。

### ほめる<Praising>

1 正解です!	That's right!
2 よくできました!	Good! / Great! / Good job!
3 がんばりましたね!	You did a good job!
4 素晴らしい! / いいね!	Wonderful! / Excellent! / Fantastic! Super. / Perfect! / Nice.
5 [彼/彼女] に拍手をしましょう!	Let's give [him /her] a big hand.

### 励ます<Encouraging>

1 あきなめないで。	Don't give up.
2 よくがんばったね。	Nice try! / Good try!
3 惜しい!	Close! / Almost.
4 もう一度 [やりなさい / 言いなさい]。	[Try/Say] it again. / Once more.
5 君ならできるよ。	You can do it.

## 9 研究の経過

月	研修日程	内容	授業研究・全体研修	その他
4月	3日(金) 研修推進委員会①	○目指す方向・構想について ○推進委員の組織及び仕事分担 ○年間計画、取り組みについて		実態調査①
	11日(木) 全体研修会①  専門部会①	○目指す方向性の確認 ○研究の組織及び仕事分担の確認 ○年間計画、取り組みの確認 ○専門部顔合わせ及び仕事分担 ○専門部の年間計画の作成 ○部の取り組みの確認		
5月	9日(木) 研修推進委員会②	○取り組みの状況確認 ○講演会よりの取り組みの検討 ○研究授業者と時期の決定 ○実態調査より取り組みの検討	21日(月) 全体研修会②「外国語活動の指導法」	
	16日(木) 専門部会②	○取り組みの検討・作業		
6月	6日(木) 研修推進委員会③	○指導法の工夫・改善	13日(水) 授業研究会①	13日(木) 懇談会⑩
7月	4日(木) 研修推進委員会④ 23日(月) 全体研修会③ 専門部会③ 24日(火) ブロック研修	○取り組みの検討・作業		
8月	30日(木) 研修推進委員会⑤	○取り組みの状況確認	24日(金) 全体研修会③ 「中央研修」 伝達講習会	
9月	12日(木) 研修推進委員会⑥ 28日(木) 研修推進委員会⑦	○取り組みの状況確認	5日(水) 全体研修会④ 「小学校教員英語指導力養成講座」伝達講習会 12日(水) 授業研究会②	
10月	3日(木) 専門部会④ 31日(木) 研修推進委員会⑧	○取り組みの状況確認		16日(木) 懇談会⑩
11月				
12月	3日(木) 研修推進委員会⑨	○研究のまとめに向けて ○研究集録の内容検討	5日(水) 授業研究会③	
1月	9日(木) 発表の打合せ	○発表に向けた全体打合せ	23日(水) 文部科学省委託 「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」	実態調査②
2月	9日(木) 研修推進委員会⑩	○研究集録の作成 ○次年度研修案作成		6日(木) 懇談会⑩
	27日(木) 全体研修会③	○研修のまとめ ○次年度研修の確認		研究集録の作成



## II 専門部の取組

### I 授業研究部の取組

#### (1) 指導法の工夫改善

##### 外国語活動 授業の流れ

- 1 あいさつ
- 2 ウォームアップ  
・今月の歌 ・ Small Talk① (既習事項)
- 3 コミュニケーションを楽しむ活動
- 4 活動のふり返し  
・ふり返しカードの記入  
・ Small Talk② (本時の学習)
- 5 あいさつ

##### E-time 活動の流れ

- 1 あいさつ
- 2 今月の歌
- 3 チャンツ
- 4 フォニックス
- 5 アクティビティ  
低中学年→簡単な英語への慣れ親しみ  
高学年→Writing Time
- 6 あいさつ

#### (2) 指導案・活動案の作成

##### 年間指導計画の修正

移行期間で、来年度は内容が変わるため朱書きで書きためる。

※直したい点について、各学年で話し合い、一覧表に書き込み提出。他学年との整合性を図る。

#### (3) Small Talk の研究

ねらい 既習の振り返りを積み重ねることで、表現を会話に生かし、豊かなコミュニケーションにつなげられるようにしていく。

内容 Small Talk①では前時の学習や既習事項を使って、Small Talk②では本時の学習の振り返りとして行う。

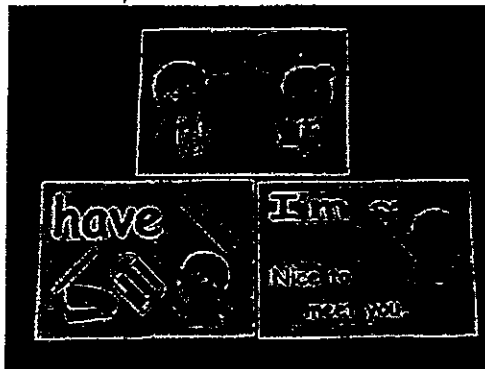
方法 Small Talk①では、状況設定フラッシュカードを示す等をしながら、担任とALTで会話をし、基本の型を教える。その後、数分間、児童同士で会話をする。

Small Talk②では、本時の活動をふりかえり、学習した表現を使って、児童同士で会話をする。

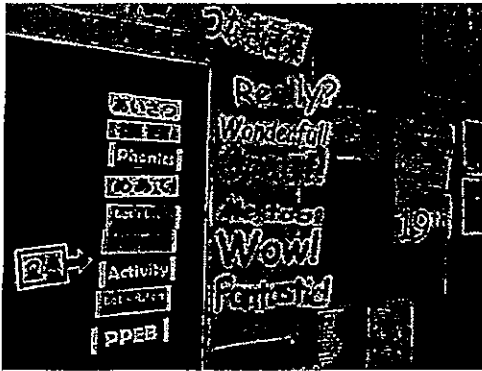
・1時間ごとの実践を残して整理する。→年間指導計画への追記

・トークを活性化させる・教師が行いやすくするための教材を開発する。

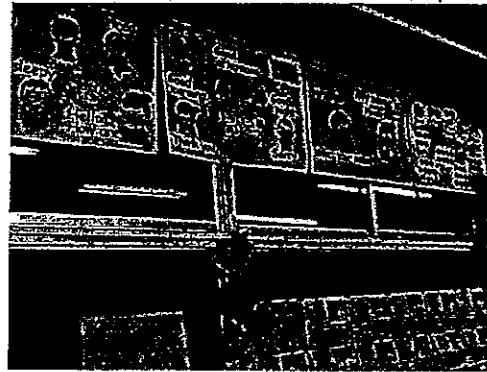
##### ①フラッシュカードの作成



②教室掲示



〈外国語ルーム〉



〈低学年〉

③既習事項の一覧表の作成

平成29年度5年生と平成30年度3年生・4年生・5年生を作成済

既習事項 確認表 平成29年度5年生

月	表現	経業
4	あなたの名前は何ですか？私の名前は～です。 Hello. What's your name? My name is... Thank you. Goodbye.	hello, name, what, your, my, is, you, thank, goodbye
4	どうですか？	様子・感情を表す語
5	How are you? I'm fine/happy.	happy, fine, sleepy, hungry, how, are, I, am, (I'm)
5	鉛筆は、何本ありますか？	身の回りのもの・数字
6	How many pencils/dogs/ cats? One, two, three... twenty.	how, many, one ~ twenty, cat(s), dog(s), pencil(s), apple(s)
6	私は～が好きです。私は～が嫌いです。あなたも好きですか？	果物・食べ物・飲み物・スポーツ・生き物
6	I like apples. I don't like bananas.	I, you, like, do, yes, no, not apple(s), strawberry(ies), cherry(ies),
7	Do you like baseball? Yes, I do./No, I don't.	peach(es), grape(s), kiwi, fruit(s), lemon(s), banana(s), pineapple(s), orange(s), melon(s), ice cream, milk, juice, baseball, soccer, swimming, basketball, bird(s), rabbit(s), dog(s), cat(s), spider(s)
9	あなたは何が好きですか。あなたの好きな色は何ですか？	色・形 (Tシャツの柄)
10	What do you like? What animal/ color/fruit/ sport do you like? I like rabbits/ red/bananas/ soccer.	I, like, you, do, yes, no, don't, red, blue, yellow, pink, green, brown, orange, purple, black, white, T-shirt, heart, star, circle, triangle, animal, color, fruit, sport

(4) ALTとの打合せ

曜日ごとに学年を決め、時間を確保する。

〈成果〉

- ・研究授業や指導者の先生より、授業を充実させる様々な手立てを学ぶことができた。
- ・氷川小の学習の流れが定着し、どのクラスでも無理なく授業を進めることができた。

〈課題〉

- ・いろいろ作成したが、有効活用のためにどう周知・保管していくか課題となる。改良しながら有効に活用していきたい。

## 2 調査・環境発部会の取組

### (1) 児童の実態調査と分析

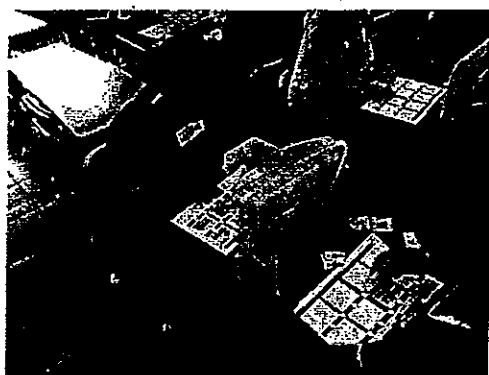
- ◆ ねらい
  - ・児童の意識調査を行うことで、指導案作成に当たっての手立てに役立てる。
- ◆ 内容
  - ・外国語そのものに対する意識と、外国語（外国語活動、E-time）の授業に対する意識の2種類に分け、調査を行う。
- ◆ 方法
  - ・年3回（5月、10月、1月）アンケートを行い、集計と分析を行う。

アンケート結果 抜粋		1		2		3		4		5		6	
		5月	9月	5月	9月	5月	9月	5月	9月	5月	9月	5月	9月
外国語を話すのは好きですか。	1 とてもそう思う	57%	59%	33%	44%	46%	55%	50%	44%	56%	53%	32%	24%
	2 そう思う	19%	24%	33%	19%	26%	32%	30%	33%	29%	32%	42%	41%
	3 あまりそう思わない	8%	6%	15%	23%	23%	12%	8%	19%	10%	12%	22%	24%
	4 思わない	16%	9%	19%	15%	5%	2%	2%	9%	4%	4%	5%	7%

・外国語そのものに対する意識については4段階、外国語の授業については5段階で意識調査を行う。

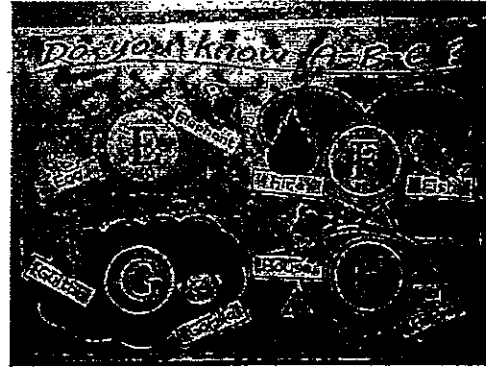
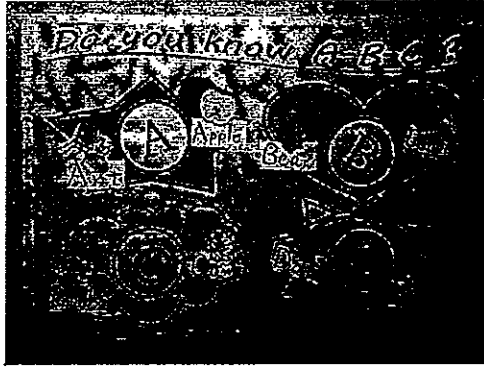
### (2) 写真・ビデオによる記録の累積と保管

- ・各学年の公開授業、研究授業を写真及びビデオデータで記録を取り、授業改善に役立てる。

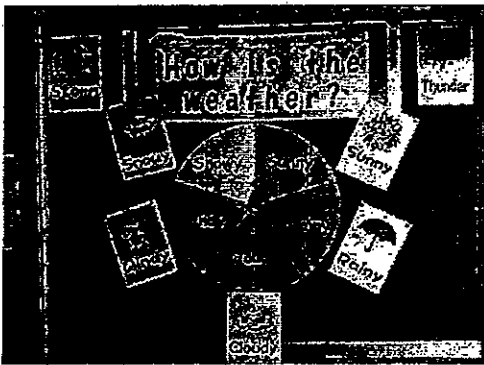


### 校内掲示、学年掲示の制作

- ◆ ねらい
  - ・外国語に関する掲示物を作成し掲示することで、外国語への関心や、授業への意欲を高め、また、児童が外国語に触れる機会を増やすことで、外国語へ親しみをもてるようにする。
- ◆ 内容
  - ・中央階段一階の掲示板と、各学年の掲示板に英語コーナーを設け、掲示を行う。
  - ・今年度作成した掲示物をもとに、年間計画を立て、次年度に引き継ぐ。
- ◆ 方法
  - ・中央階段1階の英語コーナーは、学校全体のものとし、アルファベットを中心に掲示を行う。



- ・各学年の英語コーナーは、それぞれの学年の学習内容に合ったものを制作する。



#### (成果)

- ・意識調査を行うことで、指導案作成の手立てを考える際に参考にすることができた。
- ・掲示物を作成することにより、児童が外国語に触れる機会を多く作ることができ、外国語に対する関心と親しみをもたせることができた。

#### (課題)

- ・実技を調査することができなかったので、実際に力がついているか明確に数値に表すことができない。
- ・学年によって掲示物の更新に差があり、滞ってしまうこともあった。

### 3 教材開発部の取組

#### (1) E-time 用CD. 掲示物の作成 (P. 9)

- ・「今月の英語の歌」、「チャンツ」、「フォニックス」のCDを作成した。
- ・チャンツ、フォニックスで使用する掲示物を作成した。

#### 英語ソング 一覧

4月 ABCソング	5月 Hello How are you
6月 Seven Steps	7月 1週間の歌
9月 Are you sleeping	10月 Head shoulder
11月 ロンドン橋	12月 We wish you a Merry Christmas
1月 BINGO	2月 Hello Goodbye
3月 ドレミの歌	

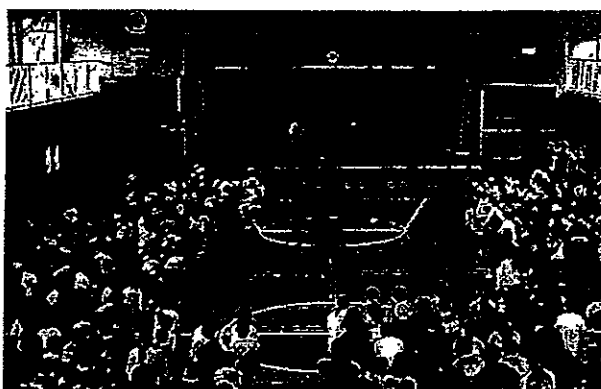
#### (2) 英語集会の実施

- ・学期に1度英語集会を実施した。

##### <英語集会の流れ>

※8:25に体育館集合

- 1 あいさつ (3分)
- 2 天気や曜日の確認 (3分)
- 3 歌 (毎月の English Song) (3分)
  - ①1フレーズずつリピート
  - ②CDに合わせて歌う。
- 4 退場



#### <成果>











- ・「今月の英語の歌」、「チャンツ」、「フォニックス」のCDを作ることで、全職員が同じように、E-timeに取り組むことができた。
- ・作成したフォニックスの掲示物全てをファイリングしておくことで次年度以降も活用できるようになっている。
- ・英語集会では、ALTと様々な歌やゲームに取り組み、英語への関心・意欲を高めた。

#### <課題>

- ・E-time用のCDが3枚に分かれており、CDの入れ替えに手間取ったりすることがあった。次年度はCDを1枚にまとめる。

チャンツ用掲示 (Lesson1~バナナじゃなくて banana)

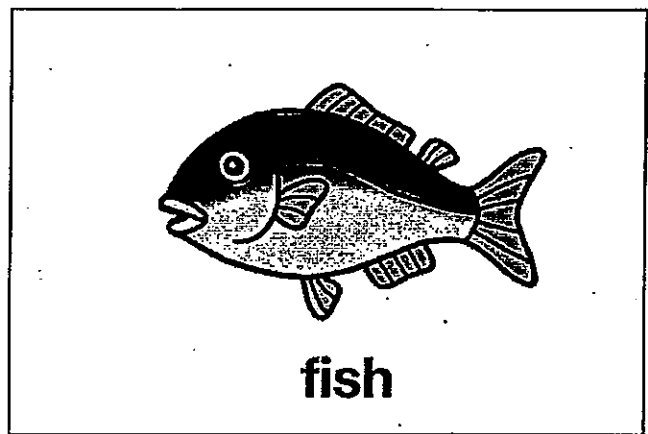
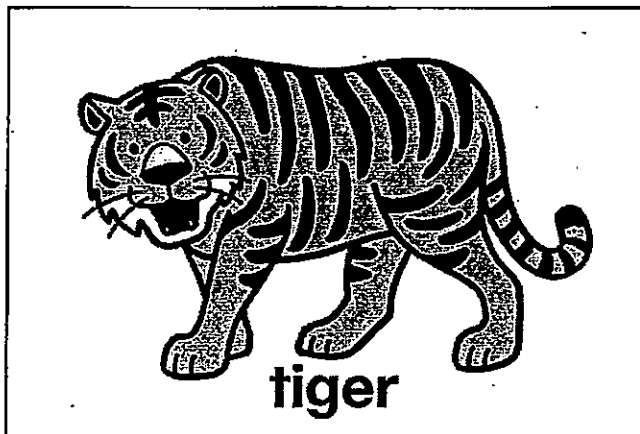
**バナナじゃなくて banana**

 1 バナナ banana	 2 チョコレート chocolate	 3 ジェリー jelly	 4 むぎゅみ candy
 5 プディング pudding	 6 アイスクリーム ice cream	 7 ポップコーン popcorn	 8 マシュマロ marshmallow
 9 ケーキ cake	 10 ストローベリー strawberry	 11 ヨーグルト yogurt	 12 ポテトチップス potato chips
 13 パインapple pineapple	 14 クリームシュー cream puff	 15 ホットチョコレート hot chocolate	 16 オレンジジュース orange juice

※これ知ってる？  
 ①バナナは果物で、②チョコレートは菓子、③ジェリーは菓子、④むぎゅみは菓子、⑤プディングは菓子、⑥アイスクリームは菓子、⑦ポップコーンは菓子、⑧マシュマロは菓子、⑨ケーキは菓子、⑩ストローベリーは果物、⑪ヨーグルトは乳製品、⑫ポテトチップスは菓子、⑬パインappleは果物、⑭クリームシューは菓子、⑮ホットチョコレートは飲み物、⑯オレンジジュースは飲み物。

じゃなくて

フォニックス用 掲示物



### Ⅲ 研修の成果と今後の課題

#### 1 成果

- ・教師が単元のねらいを明確にすることで、児童にも目的意識がはっきりとし、そのゴールに向けて学習に取り組む姿が見られた。(仮説1)
- ・外国語活動の時間だけでなく、E-Timeでも、外国語を聞く機会を設定することで、外国語の音声に慣れ親しむことができた。(仮説2)
- ・既習事項を使った会話 (Small Talk) を繰り返し行ったことで、外国語を使って進んでコミュニケーションを取ろうとする児童が増えてきた。(仮説3)
- ・授業で学んだ言語材料や単語を授業の終わりに読んだり書いたりすることで、文字を読もうとする児童や書こうとする児童が増えてきた。(仮説4)
- ・研修を行うことで、外国語活動のねらいや進め方を校内で共通理解することができた。(研修全体)
- ・ミニ研修は、実践的な内容で大変勉強になった。(研修全体)
- ・授業研究会では、講師の先生方の分かりやすく具体的な指導により、学んだ内容をすぐに実践することができた。(研修全体)
- ・「E-Time」の年間計画を作成することで、計画的に取り組むことができた。(E-Time)
- ・外国語活動の授業だけでなくE-Timeでも外国語に触れる機会を作ることで、児童は、外国語に慣れ親しむ姿が見られた。(E-Time)

#### 2 課題

- ・E-Time (高学年) の内容検討、年間指導計画作成を進めたい。
- ・教師の指導力向上のため、校内研修 (外国語活動、その他) の充実を図りたい。
- ・外国語の教科化に向け、新学習指導要領の内容に準じた指導計画の作成と評価方法をどのようにしていくのかが課題である。
- ・調査は、意識調査にとどまらず4技能5領域を計るようなもので実態を明確にするとうい。
- ・小中一貫教育を意識した指導も視野に入れ、研究を継続していきたい。

